

# 第2次高畠町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）改訂の概要

## 令和2年3月改訂の概要

### （1）温室効果ガス総排出量の算定範囲の見直し（P6）

新設した屋内遊戯場や図書館について温室効果ガス総排出量の算定範囲に含めるとともに、保育園等既に民間に貸与された施設や2019年度までに廃止された施設については算定期間を明示する等整理を行いました。

### （2）基準年度（2013年度）の温室効果ガス総排出量の再算定（P9）

温室効果ガス総排出量の算定範囲の見直し等に伴い、基準年度（2013年度）も含め、温室効果ガス総排出量の再算定を行いました。結果、**基準年度排出量が5,779t-CO<sub>2</sub>⇒5,547t-CO<sub>2</sub>に変更**となりました。

### （3）目標年度（2030年度）の削減目標の見直し（P14）

基準年度の温室効果ガス総排出量の見直しに伴い、削減目標の割合（2013年度比40%削減）は変更しないことを前提に、削減目標及び削減目標達成に向けた取組ごとの削減量を修正しました。**修正後の削減目標は3,330t-CO<sub>2</sub>（2013年度比40%削減）**となります。

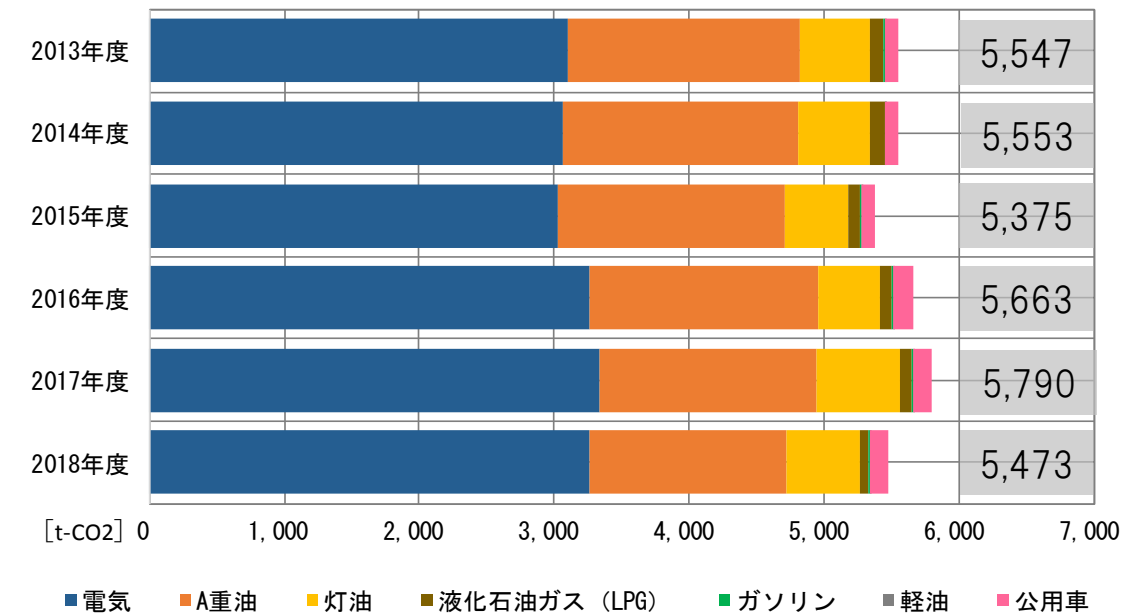
### （4）重点施策に「排出係数の低い電気の調達」を追加（P17）

調達コストとのバランスを取りながら、再生可能エネルギー由来電気など、排出係数の低い電気の調達を検討します。

## 温室効果ガス総排出量の推移

町の事務・事業から排出されている温室効果ガス総排出量の推移は、右記のとおりとなっています。

**基準年度（2013年度）の温室効果ガス総排出量は5,547t-CO<sub>2</sub>となっており、2018年度の温室効果ガス総排出量は5,473t-CO<sub>2</sub>で、1.3%減少**しています。



## 温室効果ガス削減目標

目標年度	温室効果ガス排出量（改訂前）	温室効果ガス排出量（改訂後）
2013（平成25）年度 基準年度 実績値	5,779t-CO <sub>2</sub>	5,547t-CO <sub>2</sub>
2021（令和3）年度 目標排出量（短期目標）	5,279t-CO <sub>2</sub> （8.6%削減）	5,070t-CO <sub>2</sub> （8.6%削減）
2030（令和12）年度 目標排出量（長期目標）	3,466t-CO <sub>2</sub> （40.0%削減）	3,330t-CO <sub>2</sub> （40.0%削減）

## 改訂後の目標達成に向けた取組方針と重点施策

削減対策	削減見込量	基準年度比
2018年度までの取組結果	75t-CO <sub>2</sub>	1.3%
目標年度までに新設・改修される施設において想定される排出量	-108t-CO <sub>2</sub> （※増加）	-1.9%
施設の統廃合による削減	242t-CO <sub>2</sub>	4.4%
運用改善による削減	358t-CO <sub>2</sub>	6.5%
設備更新による削減	755t-CO <sub>2</sub>	13.6%
再生可能エネルギーの導入による削減	130t-CO <sub>2</sub>	2.4%
エコドライブの推進による削減	35t-CO <sub>2</sub>	0.6%
電源構成のベストミックス達成後の排出係数による削減	731t-CO <sub>2</sub>	13.2%
<b>合計</b>	<b>2,218t-CO<sub>2</sub></b>	<b>40.0%</b>

対策区分お	対策項目
設備更新	照明設備のLED化
	空調設備更新
運用改善	設備の適切な稼働時間・稼働範囲の設定
	照明照度の調整
	空調設備の間欠運転
	空調設備の適正な温度設定管理
	空調設備の点検・清掃
	温度計測・CO <sub>2</sub> 濃度計測器によるモニタリング
	エネルギー使用量の確認と記録
再エネ導入	カーテン等による日射の調整
	太陽光発電設備の導入
	バイオマス燃料設備の導入
	排出係数の低い電気の調達